

Express5800/320Lb(-R)/320Lc(-R) ユーザーズガイド正誤表

856-125469-001- B

2007年3月 第2版

説明書名 : Express5800/320Lb(-R)/320Lc(-R) ユーザーズガイド (856-125468-001- A) 初版

【区分】A:追加 C:訂正 D:削除 E:その他

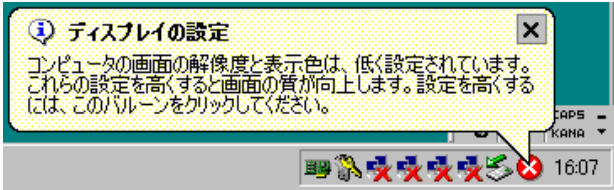
■ 2 知っておきたいこと

Page	位置	区分	正誤内容	
2-9	運用・操作に関する注意事項	A	正	！起動中に電源を切らない □電源をONにした後、起動中に電源を切らないで下さい。 →次回起動時に正常に起動しなくなる可能性があります。OSが起動し、二重化処理が完了するまでシャットダウンを行わないで下さい。
			誤	

■ 3 Windows の操作と設定

Page	位置	区分	正誤内容	
3-14	[RDR 機能を利用する上での注意点]	A	正	● ディスクのインポートはサポートしていません。 OSの再インストールを行う場合は、必要に応じてデータディスクのバックアップをとった後、全ディスクを物理フォーマットしてください。 再インストール後、バックアップからデータをリストアしてください。
			誤	

■ 7 故障かな?と思ったときは

Page	位置	区分	正誤内容	
7-28	画面右下に「ディスプレイの設定」が表示される	D	正	
			誤	画面右下に「ディスプレイの設定」が表示される →次の[画面の色]設定を[中(16ビット)]以上に変更してください。 [画面のプロパティ]-[設定]タブ-[画面の色] 

Page	位置	区分	正誤内容
7-33	ネットワーク上で認識されない	C	<p>正</p> <p><input type="checkbox"/> 転送速度の設定を間違えていませんか？ → Express5800/ftサーバに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送速度が1000Mbps、100Mbps、または10Mbpsのいずれかのネットワークで使用することができます。</p> <p>転送速度はPROSet IIにて設定します。 左側のツリーにて変更するアダプタを選択し、100Baseアダプタの場合は[Advanced]タブをクリックし、[Link Speed & Duplex]にて設定を行います。1000Base-Tアダプタの場合は[Link Config]タブをクリックします。[Auto Negotiation]に「Enable」を選択し、[Negotiable Speed and Duplexes]で転送速度を設定します(使用する転送速度のみチェックを行う)。</p> <p>Hub側の速度設定は、100Baseアダプタと接続する場合は固定速度設定、1000Base-Tアダプタと接続する場合は、オートネゴシエーションに設定してください。</p>
			<p>誤</p> <p><input type="checkbox"/> 転送速度の設定を間違えていませんか？ → Express5800/ftサーバに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送速度が1000Mbps、100Mbps、または10Mbpsのいずれかのネットワークでも使用することができます。この転送速度の切り替えや設定はOS上から行えますが、「Auto Detect」という機能は使用せず、接続しているHubと同じ転送速度で固定に設定してください。また、接続しているHubとデュプレックスモードが同じであることを確認してください。</p> <p>転送速度を固定にするにはPROSet IIにて設定します。 左側のツリーにて変更するアダプタを選択し、100Baseアダプタの場合は[Advanced]タブをクリックし、[Link Speed & Duplex]にて設定を行います。1000Base-Tアダプタの場合は[Link Config]タブをクリックします。[Auto Negotiation]に「Enable」を選択し、[Negotiable Speed and Duplexes]で転送速度を設定します(使用する転送速度のみチェックを行う)。</p>



856-125469-001- BW